
川口幸宗 最強伝説

荻野森栄乃介

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

川口幸宗 最強伝説

【Nコード】

N6897N

【作者名】

荻野森栄乃介

【あらすじ】

俺の名前は川口幸宗だ

毎日バイトは気持ち悪い(前書き)

世界最強だ

毎日バイトは気持ち悪い

俺の名前は川口幸宗

世界最強の男さ

俺に勝てるヤツがいたらかかってこい

まずは手下のシヨウノスケを倒すがいい

そいつを倒したらシヨウゴを倒すがいい

こいつはタツキと手を組むから手強いぞ

もし二人に勝つことができれば

二年後に相手をしてやる

しかし俺に挑むためには

300万円で予約をする必要があるぞ

対戦予約はいつも満員だから

予約ができたとしても

対戦するのは10年後になるだろう

まあその日がやってきても

俺が風邪をひいてる場合があるから

必ずしも対戦できるとは限らんぞ

では君の挑戦を待っている

第一章

俺の名前は川口幸宗

世界最強の男さ

今日は俺の日常について語ってやろう

まず朝の4時に起床する

そして顔を洗うのだが

普通に洗顔しても俺のスーパーフェイスには効果がないので

チューブ全てを使い切る、一回でな

次にランニングだ

総武線の小岩から千葉駅までのルートだ

往復で30分くらいかな、ははっ

そして7時に学校へ行く

遅刻すると俺のハニー（担任）がうるさいからな

早めの登校を意識するのさ

学校に着いてからが大変だ

いつも校門の前には俺に一度ぶっ飛ばされたヤンキーが待ち伏せている

だが俺はそいつらを手下を呼んで玉砕する

俺が直接手を下す必要はないからな

もし手下がやられても

俺は暴力を振るわない

黙って殴られるだけ

そうしなきゃヤツらを人生を終わらせてしまっからな

ついでに金を要求されるときがあるが

大丈夫

俺は毎日バイトしているから

ヤツらに恵んでやる余裕があるのさ

教室に行つてからも大変さ

なんたって俺の机がないんだから

まあ仕方ない

俺の力だと机を粉碎してしまうからな

ちなみにドラマ「ライフ」の
「お前の席ねえから」というセリフは

放送前から俺に対して言われていたから

俺がお初だぞ

休み時間、俺が廊下を出ると

生徒は道を開け始める

まあ俺の威圧感に耐えられないのだから仕方ない

たまに「臭い」など言われるが

そいつは俺の威圧感の耐性がなさすぎてマヒしているらしい、と我が家では言われている

下校の時は更にひどい

俺を倒さんと挑む者のほかに

尾行してきて家を放火するヤツもいる

まったく、何度消防車を呼んだか検討がつかない

まあこれが俺の日常だ

次回はバイト先での話をしてやろう

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6897n/>

川口幸宗 最強伝説

2010年10月9日12時47分発行